科目ナンバリング	U-LAS40 20002 LJ26						
授業科目名<英訳>	精神病理学II Psychopathology II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　松本　卓也		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

古典的な精神疾患の症例をとりあげながら、種々の精神疾患にまつわる概念と治療法がどのような歴史的・社会的文脈から生まれ、発展し、実際の臨床現場のなかで役立てられているのかを理解する。また、精神疾患に対する偏りのない見識を涵養し、疾患に関する科学的知識を身につけることも求められる。

[到達目標]

精神疾患にみられる症状の捉え方を理解し、代表的な精神疾患の成因、診断法、治療法、経過、心理的支援、薬物による心身の変化、および多職種連携（医療機関との連携など）について理解する。

[授業計画と内容]

基本的に、下記のテーマに関してそれぞれ2-3回をあて、講義を進める。ただし講義の進みぐあい、履修者との対話によるリクエスト、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。

・力動精神医学（精神分析）
・記述精神病理学
・現象学的（人間学的）精神病理学
・ヒステリー
・強迫神経症
・恐怖症
・精神病圏の病態

第15回にフィードバックをあてる(方法は別途連絡します。)

[履修要件]

全学共通科目の精神病理学Iもしくは行動病理学IIを事前に履修していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

期末試験（100%）による。
ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。

[教科書]

松本卓也『ジャック・ラカン　フロイトへの回帰』（岩波書店, 2026）ISBN:9784004320975

[参考書等]

（参考書）
松本卓也『心の病気ってなんだろう？』（平凡社, 2019）ISBN:978-4582838091

精神病理学II(2)へ続く↓↓↓

精神病理学II(2)

濱田秀伯 『精神症候学』（弘文堂, 2009）ISBN:978-4335651410
日本精神病理学会 書籍刊行委員会（編） 『精神症状の診かた・聴きかた はじめてまなぶ精神病理学』（金剛出版, 2021）ISBN:9784772418447

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、教科書と参考書の読書。復習として、授業中に配布したプリントと自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。
なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

前期の「精神病理学Ⅰ」と合わせ、精神病理学のおおよその全体像を把握していただけるように、前期と後期を通して、講義内容を構成しています。原則として前期と後期を通して学ぶことを奨めます。
なお、公認心理師の学部カリキュラムを構成する科目としての履修を希望する場合には、総合人間学部開講の「精神病理学II（精神疾患とその治療）」を履修する必要があります。

[実務経験のある教員による授業]

①分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

②当該授業科目に関連した実務経験の内容
精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

③実務経験を活かした実践的な授業の内容
精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神病理学の知識を教授する。

[主要授業科目（学部・学科名）]